

マグノリア グループホーム 令和7年度 第4回運営推進会議 報告書

開催日	令和7年11月19日(水)			
開催場所	グループホームマグノリア			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の家族	2名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	2名	行政(市長寿社会課)	1名
事業所出席者	施設長	グループホーム職員	3名	
	グループホーム管理者			
欠席者				

・ 開会

・ 1. 職員配置について

(R7.11.1現在)

管理者	1名(施設長兼任)
計画作成担当者	1名(介護職員兼任)
介護職員	12名
夜勤専門員	2名
看護職員	1名(非常勤)

2. 利用者状況

◆『グループホーム マグノリア』の現状 (R7.10/1～R7.11/30)

ユニット名	男性	女性	入院者 入退居者	現在数	平均年齢 ※1	平均介護度 ※2	特記
れもん ユニット	1名	8名	入院退所 0名 入所 0名	9名	93.9歳	2.3	
すみれ ユニット	1名	8名	入院退所 2名 入所 2名	9名	87.3歳	2.0	
計	2名	16名	退2・入2	18名	90.5歳	2.15	先回 91.4歳 平均介護度 2.06

※1

65歳～70歳	71歳～80歳	81歳～90歳	91歳～100歳	101歳～	平均年齢
0名	0名	10名	7名	1名	90.5歳

※2

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
4名	8名	5名	1名	0名	2.15

◆R7.10/1～R7.11/30 事故ヒヤリ報告と対応（ヒヤリハット 27 件 事故 1 件）

内 容	件数	状 况
【ヒヤリハット】		
転倒	13 件	・同じご利用者のヒヤリ多く、飲んでいる薬が合わない方だったり、センサーマットの作動が遅れたことによるヒヤリも続いた。機械に頼りっぱなしになるのではなく、こまめな巡回を行う必要がある。
ずり落ち	1 件	・居室内的ソファで横になっておられた。
利用者トラブル	1 件	・他利用者の歯磨き粉を自分のコップに入れる。
業務ミス	1 件	・声かけ不足により、清掃中のポータブルトイレをご利用者が座っていた。
紛失・物損	1 件	・新聞紙を便器に入れていた。
表皮剥離	1 件	・入浴時に左肘に表皮剥離を発見。脱衣時に擦れた可能性。
服薬	3 件	・服薬時に落下したもの 2 件。服薬方法再検討行った。
異食	1 件	・墨汁がついた筆を舐める。職員の観察不足。
その他	4 件	・予測できなかった行動により行ったヒヤリ。様々な可能性、リスクを考えて接する必要がある。
【事故】		
転倒	1 件	・廊下の椅子から立とうとされ、歩行器ごと左側へ転倒。痛み強く、立ち上がり困難にて清水病院へ緊急搬送。左大腿骨頸部骨折と診断され入院となる。

3. 活動の状況（R7.10/1～R7.11/30）

＜毎月定例してあるもの＞

- ・第1水曜：運営会議
- ・第1木曜：感染委員会
- ・第2月曜：事故防止委員会
- ・第3金曜：防災環境委員会
- ・第3木曜：高齢者虐待防止、身体拘束適正化委員会
- ・第1火曜：サービス向上委員会
- ・毎週月曜稼働調整会議
- ・月末：各ユニット会議
- ・第2月曜日：グループホーム係会議
- ・最終火曜日：仁厚会との医療連携カンファレンス

＜ご利用者の活動＞

- | | | |
|---------------|------|-------------|
| ・おやつ作り | ・誕生会 | ・敬老会 |
| ・Aによばりーコンサート | | ・餃子作り |
| ・パチスロ大会参加（3名） | | ・希望の花プロジェクト |
| ・メグミルク骨密度測定会 | | ・わらべ館コンサート |

- ・ご家族演奏会
- ・秋まつり
- ・仁敬交流ボッチャ大会参加（17名）
- ・上井まつり作品展出品、見学
- ・その他、日々の体操、レクリエーション実施。

4. 研修等（職員）の状況（R7.7/1～R7.8/31）

- ・毎月係会議で栄養士による栄養研修
- ・ISO グループホーム部会研修
- ・BCP研修
- ・コミュニケーション研修
- ・救急救命研修

5. その他

- ・11/16：第2回家族会（県立美術館外出：利用者17名・家族10名・職員10名参加）
- ・11/28：ISO グループホーム部会事例検討会予定

【皆様からのご意見】

包括支援センター：2か月間で行った数とは思えないほどイベントや外出が多くなってる、去年より力を入れている印象。施設は閉ざされたイメージがあるが、マガリヤGHは地域と繋がっている感じた。

家族代表：家族会に参加し、母の付き添いをした。車の乗り降り等、自宅での介護では難しいと感じた。
外出の機会をくださり感謝。自分の地域の防災センターに行く事もあったが、いざと言う時に、職員だけでは大変だと思う。不安を感じる。家族としても支援したいが、どうしたらいいのかわからないのが現状。（中村より：外出だけではなく、普段の行事にもご家族に参加して頂きたい。ご利用者とご家族の関わりを保ちたい。思い出を作り出したい。）

家族代表：母が97歳で高齢なのに、外出が出来て嬉しかった。3年前までは元気だったが。今日は顔を覚えていてくれていた。色々とご配慮くださりありがとうございます。ヒヤリの欄が簡素的になり見やすくなった。職員の事故を減らすための工夫が書いてあるといいと思う。

倉吉市長寿社会課課長補佐：夏は暑くて熱中症のリスクがある、冬はヒートショックなどに気を付けなければならなかったりと過ごしやすい時期がない。その中でご利用者はもちろんだが、職員の体調も気をつけて欲しい。

民生委員：ヒヤリが以前に比べて軽くなっている印象。良い事だと思う。言葉は悪いが、大したことが無くて良かった。

上井公民館長：フロアを見せて頂き、穏やかな印象を受けた。利用者と職員の比率を見るととても私たちにはできないと感じた。会議にも出席したりと、現場はどうやって対応しているのか、職員が少ないのではないか。ヒヤリが27件、事故が1件起きている。納得がいかないし、職員が報われない。（包括松本様、石井課長、長寿社会課課長補佐様より：国の基準があり、決まった数でしか介護報酬が出ない。その為、職員を増やすと赤字になる。黒字になるギリギリの数の職員で対応している。他の事業所に比べて職員も若いし、福利厚生もしっかりとしている。）

次回 令和8年1月21日（水） 13:30～14:30